



きりん組だより No.1

令和2年7月2日

きりん組担任 百瀬 皓美

きりん組での生活がスタートして1ヶ月が経ちました。新しい保育室、新しい遊具、年長組の生活に、初めは緊張していた子どもたち。分散登園を経て、一斉登園になった22日には、きりん組のみんなとの再会やスタートできることを喜び合っていました。今ではじっくりと自分の好きな遊びをする姿、友達と声を掛け合って遊ぶ姿が見られるようになってきました。わくわくしみな気持ちの一方で、不安になることもあるかと思えます。気になることやご心配ごとがありましたら、いつでもお声かけください。今回のきりん組だよりでは、七夕製作の様子をご紹介します。

わくわく七夕飾り製作

七夕製作では、染め紙、天の川作り、くす玉作りを経験しました。

染め紙は、障子紙を三角や四角、じゃばらなど、自分の思い通りに折り、「何色にしようかな？」と赤・青・黄・紫から選んで染めました。いろいろな折り方、染め方を試していた子どもたち。広げると「わあきれい！」と同じ染め方をしていない不思議さ、面白さを味わいました。

染め紙を使って、切り込みを入れる経験として、天の川とくす玉作りに挑戦しました。最初は気を付けていても、うっかり切り落としてしまう姿もありました。コツをつかむと、天の川は最後まで細かく切り込みを入れようとしたり、くす玉は少し長い工程も最後まで丁寧に作り進めたりする姿が見られました。

お家に持ち帰って飾ることを楽しみにしていますので、工夫したところや頑張ったところなど、お子さんと話しながら飾っていただけたらと思います。そして、親子で七夕飾り作りも楽しんでいただけたらと思います。

7月7日には、七夕の会があります。大笹やお楽しみを見ながら、伝統文化を味わえるようにしていきたいと思っています。



＜染め紙＞
どんな形に
折ろうかな！



＜天の川＞
切ったところが破けないようにそっと開こう！



どんな模様になるかな？

＜くす玉＞
どの染め紙から作ろうかな！



きらきらのお星様を貼ったら完成！



『目打ち』を使って穴を開けました。

